



INTERNATIONAL JOURNAL

(インターナショナル・ジャーナル)

2023 Spring Issue (春号)

【四半期ごとに、環境について国際的な視点でご紹介します。】

資源循環を考えよう！
(サーキュラーエコノミー)

持続可能な航空燃料 (SAF (サフ) : Sustainable Aviation Fuel)

皆さんこんにちは！

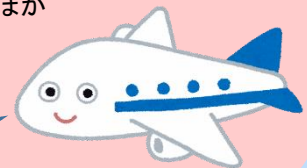
国内のCO₂総排出量のうち運輸部門は、
約2割を占めると言われています。
今日は航空分野での脱炭素化の取組について見ていきましょう。



航空機の燃料は、自動車のように電動化や水素化が難しいとされている中、注目されているのは、将来的に最もCO₂削減効果が高いとされている「持続可能な航空燃料：SAF (サフ)」です。SAFの原料となるのは、主に農業残さや飲食店で排出される廃食油や廃棄物などのバイオマス由来です。

このSAFの2020年時点の供給量は、世界のジェット燃料供給量のわずか0.03% (6.3万キロリットル) しかなく、導入促進のためには、安定的で安価な製造・供給が課題です。このため、官民一体となって導入推進のための検討・協議を行っています。参考：国土交通省、資源エネルギー庁ほか

国際的な目標は、2050年までに航空機が
排出するCO₂を実質ゼロとすることだよ！



脱炭素に貢献する取組が普及していくためには、社会全体の理解促進とCO₂削減となる手法を積極的に選択していくなどの行動変容も重要となってきますね。

令和5年3月17日発行 印刷物登録 令和4年度第149号

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃事業国際協力室

(Clean Authority of TOKYO, International Cooperation Department for Waste Management)

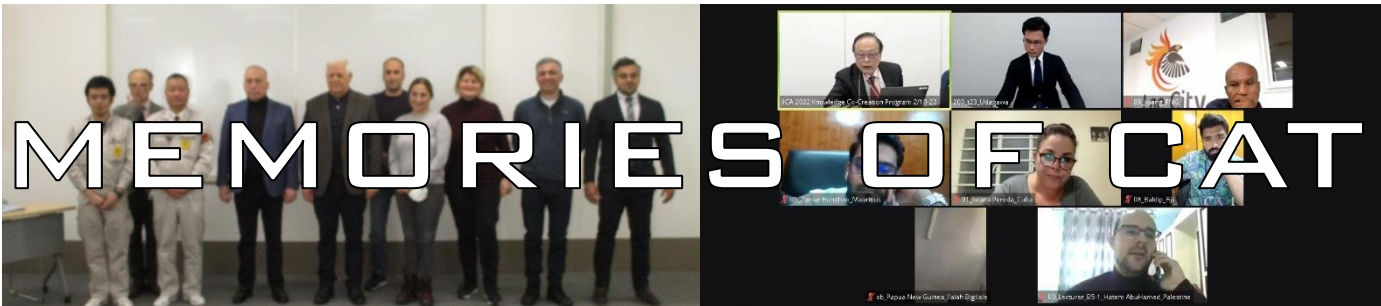
ホームページ : <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/index.html> 電話 : 03-6238-0575

【東京二十三区清掃一部事務組合は、海外のごみ問題に23区とともに取り組んでいます。】



Clean Authority of TOKYO





▶ 海外の人材育成のための研修、視察に協力しています

東京二十三区清掃一部事務組合（CAT）は、23区とともに、廃棄物処理などの課題を抱える海外諸都市の人材育成に協力しています。本号では、環境省や独立行政法人国際協力機構（JICA）の研修事業に協力した様子をご紹介します。

工場見学



ジョージア国副大臣（右端）

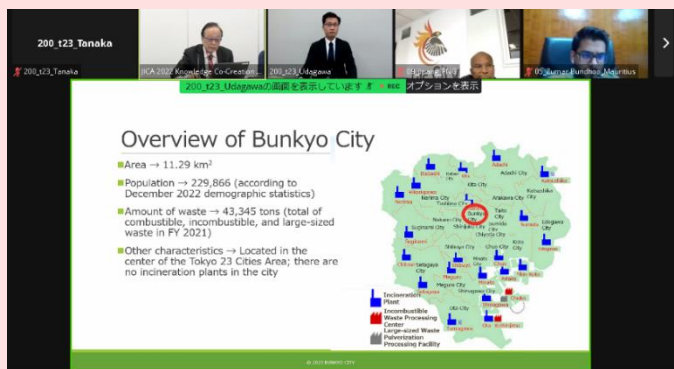
令和5年1月10日（火）に、環境省事業「令和4年度我が国循環産業海外展開事業化促進のための研修」の一環で、ジョージア国環境農業省副大臣一行が練馬清掃工場を視察しました。

工場職員の説明を受けながら、灰処理の方法などの環境対策の取組について、熱心な質問がありました。

研修協力



動画による研修の様子



文京区の住民啓発の説明

令和5年2月17日（金）に、JICA2022年度課題別研修「リサイクル制度設計」プログラムの一環で、キューバ国ほか6か国・地域の行政官等を対象に、東京23区における分別・意識啓発について、文京区と連携してオンライン形式により講義や意見交換を行いました。

受講者からは、文京区の住民啓発手法について素晴らしい取組であるとの感想が寄せられたほか、生ごみの処理や廃棄物管理の予算などについて熱心な質問があり、各国でリサイクル・廃棄物管理の課題解決に真剣に取り組んでいる様子が伺えました。

今後も23区とともに国際協力に取り組んでいきます！！